

日本語
教師
コーディネーター

行政

文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

浜松市共催

(公財) 浜松国際交流協会共催



通訳者

自治会

翻訳者

「多文化共生社会」の 防災・減災

地震、台風、大雨、洪水…日本は自然災害がとても多い国です。そんな中、国内には300万人近い外国人が暮らしていますが、「自国との気候・起こり得る災害の種類の違い」を知らない人も多くいます。多様化が進む私たちの「地域の防災・減災への意識」は、従来のみで大丈夫でしょうか。本講座の第一部では東日本大震災でのご経験から当時困ったことや、現在の住民の意識変化をお聞きします。第二部では「浜松市災害時多言語支援センター」の取組をお聞きします。ご参加者の皆様とともに今一度、地域日本語教室の役割を考え、災害にも備えたいと思います。

参加は「ZOOM」にて (URLは申込後、お伝えします) : 無料
— 定員90名 12月13日までにお申し込みください —

日時 : 12月19日(土) 午後1:30~3:30

一部

東日本大震災の経験を踏まえて
外国人住民の地域防災への参画

講師 菊池 哲佳 氏

仙台多文化共生センター センター長
(公財) 仙台観光国際協会 国際化推進課



二部

浜松市災害時多言語支援センターの取組

講師 キクヤマ リサ 氏

(公財) 浜松国際交流協会 HICE
多文化共生コーディネーター



お申込みは



NPO法人フィリピンナガイサ
filipinonagkaisa@yahoo.co.jp

※「お名前」「ご所属」「ご連絡先」「12/19参加希望」を記してください

